

氏 名	山 田 奈 央
学位の種類	修 士 (看護学)
学位記番号	修 士 第 1 1 5 号
学位授与年月日	平成 2 1 年 3 月 2 5 日
学位論文題目	中学生の他者関係における信頼感及びやせ志向が抑 うつに及ぼす影響について

論 文 内 容 要 旨

※整理番号	119	(ふりがな) 氏 名	やまだ なお 山田 奈央
修士論文題目	中学生の他者関係における信頼感及びやせ志向が抑うつに及ぼす影響について		
<p>〈研究の目的〉 本研究の目的は、中学生の他者関係における信頼感及びやせ志向が、抑うつに及ぼす影響を明らかにすることである。</p> <p>〈方法〉 対象者は、滋賀県内において研究に関して学校長の同意が得られた中学校の生徒 809 名であった。データ収集方法として、横断的方法による自己記入式質問紙を用いた。データ分析として、中学生の背景と信頼感及びやせ志向が抑うつに及ぼす影響を明らかにするために、男女別にステップワイズ法において重回帰分析を行った。抑うつ尺度の下位尺度を従属変数とし、信頼感尺度及び男女別やせ志向尺度の下位尺度を独立変数とした。</p> <p>〈結果〉</p> <p>① 集団特性においては、ダイエットへの関心、ダイエットの経験、家族との会話、平日の睡眠時間は、男女双方において抑うつの下位尺度に有意な得点差を認めないことが明らかになった。</p> <p>② 男子においては、 自分や他人へのゆるぎない信頼、自分や他人への不信が弱いことにより、楽しみの減退感が強まる。 自分へのゆるぎない信頼が弱いこと、自分や他人への不信、自分の体型への否定感により、悲しみや孤独感が強まる。 自分や他人へのゆるぎない信頼が弱いこと、自分や他人への不信、自分の体型への否定感により、活動性の減退感が強まる。</p> <p>③ 女子においては、 自分や他人へのゆるぎない信頼が弱いことにより、楽しみの減退感は強まる。 他人へのゆるぎない信頼が弱いこと、自分や他人への不信、異性を意識したやせへの願望により、悲しみや孤独感は強まる。 他人へのゆるぎない信頼が弱いことにより、無気力及び活動性の減退感は強まる。</p> <p>〈考察〉 本研究の集団特性は全国調査とほぼ同様であったが、抑うつへの有意な影響力は見られなかった。信頼感については、男子の抑うつ各側面は信頼感の各側面から影響を受けていたが、女子の抑うつ各側面全てに影響を及ぼしていたのは信頼感の他人へのゆるぎない信頼のみであった。すなわち、信頼感における男女の特徴については、男子のほうが女子よりも抑うつに関しての信頼感が多様な局面において感受性が強いことが明らかになった。また、やせ志向については、男子の抑うつは自分の体型への否定感からのみ、女子では異性意識からのみ影響を受けていた。すなわち、やせ志向における男女の特徴については、男子は健康や身体機能など自己の身体への意識が抑うつに影響を及ぼしていたのに対し、女子では異性を意識したやせへの願望が抑うつに影響を及ぼしていることが明らかになった。</p> <p>〈総括〉 本研究により、中学生の他者関係における信頼感及びやせ志向が抑うつに影響を及ぼしており、その影響については男女において特徴的な相違が見られた。そのため、例えば抑うつ推移の把握についての必要性をまず看護職全体が認識し、さらに中学生と日常的に接する養護教諭などとも継続的な連携を保つことで、中学生の健康に貢献することができる</p>			

- (備考) 1. 研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に記載すること。(1200 字程度)
2. ※印の欄には記入しないこと。